

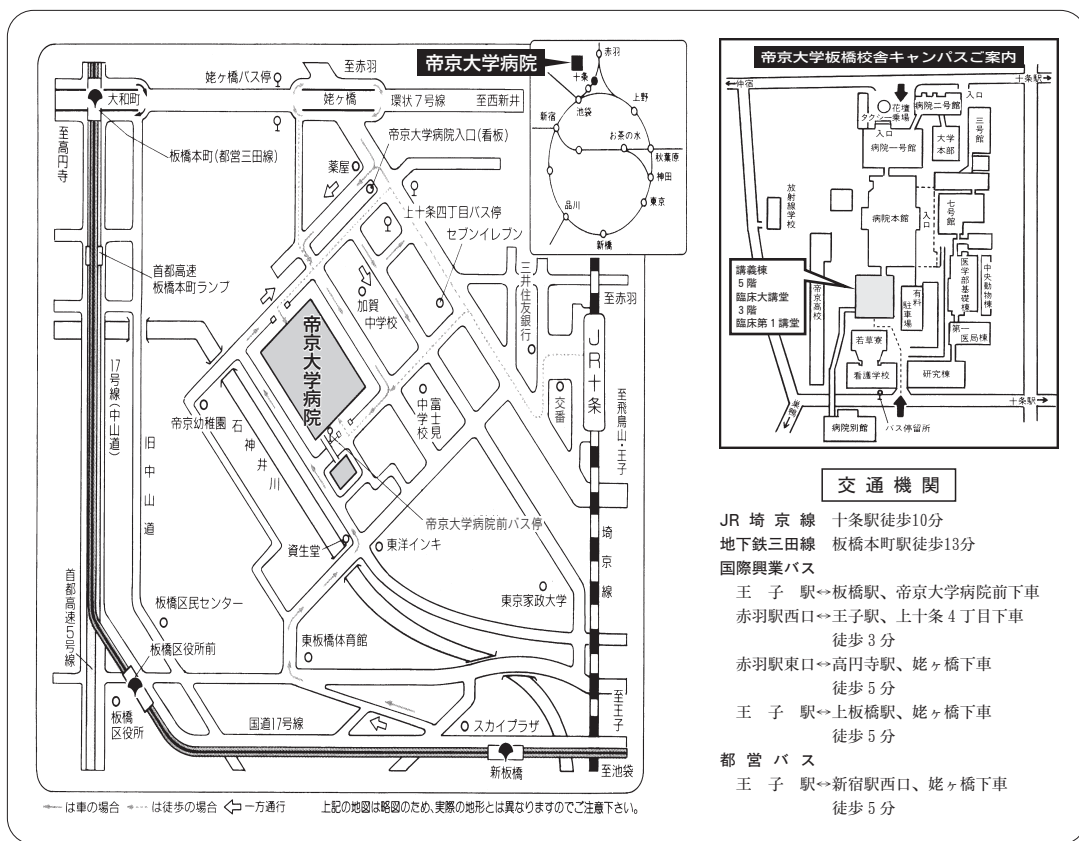
第 555 回

日本小児科学会東京都地方会講話会

プログラム

日 時 平成20年 3 月 8 日(土)午後 2 時00分

場 所 帝京大学講義棟臨床大講堂(5 階)



演題の申し込みについて

1. 講話会の当日、文書で提出、もしくは e-mail で事務局宛送ってください。
2. 抄録(160字以内)をおつけください。
3. 原則として指定発言をつけてください。
4. 演者、指定発言者は、当日二次抄録(200字以内)を提出してください。(日本小児科学会誌掲載の為)

世話人

プログラム係 荒木 聡
東京医科歯科大学 小児科 03 (3813) 6 1 1 1
FAX 03 (5803) 5 2 4 7

会場係

帝京大学小児科 中村 明夫
03 (3964) 1 2 1 1 内線 1 4 8 1
直通 (FAX) 03 (3579) 8 2 1 2

事務局

e-mail: pedi@med.teikyo-u.ac.jp
03 (5388) 7 0 0 7
e-mail: jps-tokyo@umin.ac.jp

第 555 回 日本小児科学会東京都地方会講話会演題

(1 題 6 分, 指定発言 5 分, 追加討論 3 分以内, 厳守のこと。○印演者)

第 1 グループ 14:00—14:45

座長 柴田 光規 (国立成育医療センターこころの診療部)

1) 入院治療中に重症の精神症状を合併した神経性食欲不振症の 2 例

○宇田川美野子, 林 和代, 江川 充 (東京警察病院小児科)

入院治療開始後に妄想性および分裂病質的と考えられる人格障害が出現した神経性食欲不振症制限型の女児例 2 例を経験した。いずれも体重の十分な回復に伴い異常精神症状は消失し予後良好であった。精神症状の主因は低栄養状態および治療抵抗性であったと思われ, 標準体重の -30 ~ 35 % は身体的にも精神的にも大変危険な状態にあると考えられた。

2) 腕頭動脈の気管圧迫による気管狭窄の 1 例

○寺嶋 宙, 小寺 美咲, 三浦健一郎,

狩野 博嗣, 小太刀康夫, 五十嵐 隆 (東京大学小児科)

横山 美貴 (青梅市立総合病院小児科)

症例は 5 カ月男児。生後 1 カ月頃から喘鳴が認められ内服治療を受けていたが軽快までに 4 週間を要した。成後 4 カ月時に喘鳴を主訴に当院を受診。腹部 X 線で気管透瞭像が不明瞭なことから気管狭窄が疑われた。胸部造影 CT 検査を施行し本症と診断した。本症は稀ではあるが先天性喘鳴では鑑別すべき疾患と考えられた。

3) ロタウイルス胃腸炎経過中に敗血症に至った 1 例

○白石 暁, 三留よしな, 瓜生 英子, 山中 純子, 松下 竹次 (国立国際医療センター小児科)

症例は肺炎で入院中にロタウイルス胃腸炎に罹患した特に既往のない 1 歳 1 カ月の男児。胃腸炎の経過中に突然の発熱と全身状態不良を認めた。血液培養を採取したところ K.pneumoniae-ESBL 産生菌が検出された。また便培養でも同菌が検出され, bacterial translocation により敗血症に至ったと思われた。小児の bacterial translocation に関し文献的考察をふまえ報告する。

指定発言 内田 寛 (埼玉県立小児医療センター感染免疫科)

4) 低身長精査を契機に診断したオルニチントランスカルバミラーゼ (OTC) 欠損症の 1 女児例

○関川麻里子, 春名 英典, 遠藤 周, 馬場 洋介, 染谷朋之介,

藤井 徹, 内藤由紀子, 奥村 彰久, 荒井 康裕, 清水 俊明 (順天堂大学小児科思春期科)

会津 克哉, 望月 弘 (埼玉県立小児医療センター代謝内分泌科)

高柳 正樹 (千葉県こども病院代謝科)

3 歳 5 カ月女児。時折食後に嘔吐を認めていた。3 歳児健診で -2.9 SD の低身長を指摘され当科を受診した際に肝機能異常を認めた。尿素サイクル異常症を疑い施行した NH₃ 値が 312 μg/dl と高値, 尿中オロト酸陽性より, OTC 欠損症と化学診断した。その後の精査で OTC 遺伝子変異を同定した。低身長は非内分泌性低身長症であった。

第2グループ 14:45—15:30

座長 鹿島田 健一（東京医科歯科大学小児科）

5) 先天性肺炎球菌性肺炎，敗血症，髄膜炎の1例

○中村 弘治（板橋中央総合病院産婦人科）

代田 道彦，内田 英夫，権東 雅宏，

藤井 靖史，星 順，柳川 幸重（帝京大学医学部附属病院小児科）

在胎35週，出生体重2086gの男児。主訴は呼吸障害。鼻汁，胃液，便から肺炎球菌を分離。母体の腔培養陰性，尿中肺炎球菌莢膜抗原陽性。髄液細胞数高値，血小板減少，D-dimer上昇より，先天性肺炎球菌性肺炎，敗血症，DIC，髄膜炎と診断。人工呼吸管理と抗菌薬投与にて軽快した。比較的まれな予後不良疾患であり文献の考察を加え報告する。

6) 頻回の脳外科的処置を必要とした大腸菌による細菌性髄膜炎の1乳児例

○倉信 大，保立麻美子，片桐 朋子，荒木 聡，水谷 修紀（東京医科歯科大学小児科）

稲次 基希，前原 健寿（同 脳神経外科）

高澤 啓，小野 敏明，宮田 理英，島井 芳穂（東京北社会保険病院小児科）

症例は大腸菌による細菌性髄膜炎の1カ月男児。抗生剤治療を開始したが，硬膜下膿瘍を形成。2回にわたる手術で膿瘍を摘出し得たが，その後髄膜炎後水頭症を発症。外シャント留置後VPシャントを留置したが，シャント感染，シャント不全等を併発し，複数回の脳外科的処置を必要とした。経過の報告と乳児期の細菌性髄膜炎の問題点について考察する。

7) 当院で経験したインフルエンザ桿菌髄膜炎14例の検討

○安井 直子，堀越 裕歩，高山ジョーニョ（国立成育医療センター総合診療部）

2002年からの6年間にインフルエンザ桿菌髄膜炎14例を経験した。全例，抗菌薬投与による治療で生存が得られているが，硬膜下水腫・膿瘍を合併した例や痙攣重積を来しPICU管理を要した例もあった。このような小児の侵襲的感染症の起因为菌であるインフルエンザ桿菌感染予防のために早期のワクチン普及が期待される。

8) 都立3病院におけるインフルエンザ菌感染症の検討

○小林さより，寺川 敏郎，横路征太郎（東京都立府中病院小児科）

神保 圭佑，長谷川行洋（東京都立清瀬小児病院）

賀来卯生子，渋谷 和彦（東京都立八王子小児病院）

都立3病院における過去20年間のインフルエンザ菌による細菌性髄膜炎ならびに急性喉頭蓋炎について検討した。起炎菌の判明した細菌性髄膜炎の総数は159例で，そのうちインフルエンザ菌によるものは98例，前期（1988～1997年）30例，後期（1998～2007年）68例であった。症例数は明らかに増加しており，Hibワクチン定期接種の早期導入が望まれる。

指定発言 上原すゞ子（千葉大学）

休 憩 15:30—15:40

感染症だより 15:40—15:50

座長 山本 光興（山本小児科）

谷口 清洲（国立感染症研究所感染症情報センター）

教育講演 15:50—16:20

座長 柳川 幸重（帝京大学小児科）

小児の慢性頭痛

清水 俊彦（東京女子医科大学脳神経外科）

腹痛や発熱と同様に、小児の外来診療の現場において、頭痛の主訴はよく遭遇する症状のひとつである。しかしながら、一次性頭痛の代表格である片頭痛に関しては、発症形式や主症状もしくは随伴症状が成人に比して大きく異なるため、その診断と治療に関しては熟練が必要とされる。また片頭痛の発症素因を有する小児は乗り物酔いしやすかったり、周期性嘔吐症を起こしたりもしくは腹痛やめまい症状をきたしやすいなどの特徴があり、したがってこれらの周辺症状を問診の段階でよく聴取するなどの工夫が必要である。もちろん頭痛にて来院する小児の中には、生命予後には支障をきたさない副鼻腔炎や将来脳梗塞や脳内出血などの生命予後に重篤な障害をきたす可能性のあるもやもや病（ウイルス動脈輪閉塞症）などの二次性頭痛の患者も少数ではあるが含まれることがあるため、画像診断などの補助検査が必要とされることもままならずある。本講演では小児期から思春期を経て成人にいたるまでに変容を遂げる片頭痛（変容性片頭痛）の診断と治療、および小児で注意しなければならない二次性頭痛鑑別のポイントについて述べてゆく予定である。

第3グループ 16:20—17:00

座長 佐久間 啓（国立精神神経センター武蔵病院小児神経科）

9) 麻疹ウイルスによる横断性脊髄炎の1例

○遠藤あゆみ, 今井 由生, 荒川千賀子, 小平隆太郎,

藤田 之彦, 淵上 達夫, 麦島 秀雄（日本大学小児科）

泉 裕之（板橋区医師会病院小児科）

9歳女児。麻疹の第8病日から膀胱直腸障害、歩行障害、感覚障害が出現した。MRIのT2強調画像でTh8～12に高信号域を認め、脊髄レベルに一致した症状と血清・髄液の麻疹抗体価の上昇から横断性脊髄炎と診断した。ステロイドパルス療法で症状は速やかに改善した。麻疹に合併した横断性脊髄炎の報告例は少なく文献的考察を加え報告する。

10) 帯状疱疹に髄膜脳炎を合併した1例

○小野 竜, 山本 佳樹, 平山 優美, 高柳 隆章, 須永 進（東京都保健医療公社荏原病院小児科）

井田 正博（同 放射線科）

13歳男児。帯状疱疹治療中に頭痛、両側手指の麻痺を主訴に来院した。来院時意識障害を認め、髄液細胞数増多あり、髄液中のVZV-DNA-PCR陽性であった。帯状疱疹に伴う髄膜脳炎と診断しACV投与にて加療し経過は良好であった。本症は稀であり、文献的考察を加えて報告する。

11) 病初期に発熱と頸部リンパ節腫脹のみを認めた不全型川崎病の 11 歳男児

○長島 由佳, 塚本 絵美, 天野 直子, 瀧山 亮平, 玉目 琢也,
前田 潤, 新庄 正宜, 山岸 敬幸, 高橋 孝雄 (慶應義塾大学小児科)

発熱と有痛性の左頸部リンパ節腫脹を主訴に第 4 病日に入院。化膿性リンパ節炎を疑い抗菌薬を投与したが発熱が持続, 眼球結膜充血を認めたことから不全型川崎病と診断。第 9 病日に免疫グロブリン静注療法を行い翌日には解熱した。年少児と異なり年長児では不全型が多く, 初期には頸部リンパ節腫脹と発熱のみを認め, 診断に難渋することがある。

12) 頸部エコーが診断に有用であった不全型川崎病の 1 例

○池田 梨奈, 中村明日香, 飯島 正紀, 河合 利尚,
浦島 崇, 小林 博司, 衛藤 義勝 (東京慈恵会医科大学小児科)

4 歳女子。発熱と頸部リンパ節腫脹で入院し, 抗生物質の投与を行ったが改善が得られなかった。頸部エコーで多胞性リンパ節腫大を認め, 診断基準Ⅱ/Ⅵの不全型川崎病として γ グロブリンの投与を行い症状の改善を得た。本症例では川崎病に特徴的な頸部リンパ節のエコー像を呈し不全形川崎病の診断に有用であった。

新旧合同幹事会だより

第 554 回講話会終了後, 新旧合同幹事会が開催されました。概略は以下のとおりです。

1. 幹事選挙結果が報告され, 87 名全員が当選となりました。
2. 役員・運営委員の改選が行われました。
3. 平成 19 年度の決算の報告及び監事による監査報告が行われ承認されました。
4. 平成 20 年度の予算および事業計画が審議され承認されました。

運営委員会だより

1. 2 月の講話会参加者 158 名, 新入会 5 名 (会員数 1,875 名)。
2. 東京都地方会は 2008 年 5 月から東京大学へ会場が移ります。なお, 4 月の地方会講話会は第 111 回日本小児科学会学術集会のためお休みです。
3. 2008 年 5 月からの教育講演のテーマを「小児科診断学の update」としました。また, 講演時間枠を拡げる方向で検討中です。
4. 地方会講話会終了後に総会が開催されます。

【会員登録事項の変更届についてのお願い】

- 自宅, 勤務先の住所 (プログラム送付先) 等の変更または, 改姓があった場合は, 速やかに東京都地方会事務局までご連絡下さい。登録事項変更届出用紙をご送付いたします。
- 退会される場合も必ずご連絡ください。そのお届けがない場合は次年度も継続として年会費の請求を致します。

東京都地方会事務局 TEL : 03 (5388) 7007 / FAX : 03 (5388) 5193

地方会ホームページのお知らせ

更新しております。是非アクセスしてみてください。

URL : <http://plaza.umin.ac.jp/jpstokyo/>

Presentation について

発表は Computer Presentation (Windows) のみで受け付けます。Powerpoint 2000 以上で作成、Font 文字は Powerpoint 備え付けのみ。CD-R もしくは USB メモリーにて、第 1、2 グループ発表者は午後 1 時 30 分までに、第 3 グループ以降の発表者は午後 3 時までにはスライド受付まで持参して下さい。機器操作は、当方で行います。あらかじめウイルス check をお願いいたします。

※ Vista には未対応です。

〈ベビーシッタールーム開設のお知らせ〉

乳幼児を同伴される方のために、ベビーシッタールームを開設します。利用ご希望の方は、利用日の 1 週間前までに事務局へお申し込み下さい。申し込みの際、お預けになるお子様の氏名・年齢・性別・及び預けられる時間帯を伺います。利用当日、お子様が好きな食べもの・飲料・おもちゃ・着替え・おむつなどに名前を付けてご持参下さい。また申し込み受付後、問診票に記載していただきますことをご了承下さい。キャンセルされる場合は、3 日前までにご連絡をお願いします。なお費用は学会が負担いたします。

日本小児科学会東京都地方会事務局 TEL 03-5388-7007/FAX 03-5388-5193

演者の先生方へのお願い

一次抄録は 160 字以内に。また、二次抄録は日本小児科学会雑誌に掲載されますので規定の 200 字以内を厳守くださるようお願いいたします。(原稿は活字もしくはワープロ文字で)

出席した会員に発表の意味をより強く、明確に伝えるために、最後(または適切な時期に) Take Home Message (この発表から学ぶこと) を手短な一文で記したスライドを付け加えて頂くようお願いいたします。

WAKODO

薬価基準収載

経皮吸収型・気管支拡張剤

指定医薬品、処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること

セキナリンテープ® 0.5mg
1mg
2mg
SEKINARIN® TAPE

ツロブテロール経皮吸収型製剤

- 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

資料請求先

発売元 **和光堂株式会社**

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-14-3

製造販売元



ジェイドルフ製薬株式会社

〒528-0211 滋賀県甲賀市土山町北土山2739

06.07

